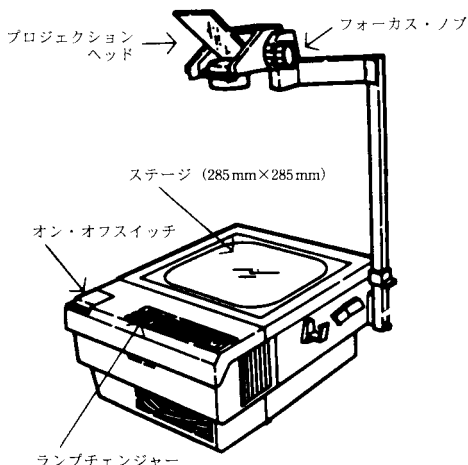


1. OHP 使用に関して

口頭講演は、一部のシンポジウムを除き、すべてオーバーヘッド・プロジェクター（OHP）を使って行います。講演される方はこのことを十分念頭に置かれたうえ、OHP フィルム作成（OHP は透過型ですので、透明フィルムでないとうりません）など準備に当たってください。以下は基本的な原稿の作成方法、OHP 使用方法に関するご案内です。

フィルム用原図の作成



OHP の投影可能面積は 285 × 285mm です。図面・原稿は A4 サイズが一般的です。文字・数字はできるだけ太く、大きく書くよう努力してください。

OHP フィルムの使用

次のような方法があります。

- ① 通常の乾式複写機を用い、OHP 用透明フィルム（複写機用フィルム）に直接複写する。

右記のポスターセッションの分科では、それぞれ別会場にて5分の口頭講演の場を設けることにしました。このショートプレゼンテーションは発表者には多少の負担となりますが、ポスターセッションの始まる前に行われますので、発表者の側においては発表の対象者が広がることになり、また聴講者においても、その全体の概要を予め知るうえで助けになるものと思われま

す。この5分講演は右記のとおり行なわれ、引き続いて同日にそれぞれのポスターセッションが行われます。これに当たっている講演者は各自の講演日時を必ず確認され、登壇時間に遅れることがないようにご協力をお願いします。

- ② OHP 専用複写機を活用する。
- ③ OHP 用透明フィルムに直接専用ペンにて手書きで書き込む。

使用方法

左図OHPのステージにフィルムをのせて、スイッチを入れると、スクリーンに映写されます。これは講演者各自で操作いただくこととなります。講演中、映像の一部を指示したいときはペンや鉛筆でステージ上のフィルムを指してください。ただし、講演者の位置によっては聴講者の視界を妨げる場合がありますので、そのようなときは適宜スクリーン上の映像を利用して指示してください。万一、講演中ランプが切れた場合、ランプチェンジャーをスライドしてください。以上の点に考慮していただければ、あとは学会側で講演が円滑に行われるよう準備いたします。

2. 講演時間について

各会場の講演がプログラムどおり進行し、聴きたい講演を予定の時刻に行けば聴くことができるようになっていくことが望ましいわけですが、この要請をある程度満たすためにつぎの方法により講演時間などを調整することとしました。

- a. 原著発表の講演時間は10分とする。
- b. 題目の討論時間は5分とする。
- c. 座長は休憩時間開始時刻ならびに午前、午後の講演終了時刻までに定められたプログラムを終了するように時間を調整する。
- d. 講演開始、昼食時刻などは講演分科日程表・本文のとおりとする。（午前の座長のみ前半、後半を通じ一人の方をお願いすることにしています。）シンポジウム講演、受賞記念講演については一律に規定しがたいのでプログラムに定められたとおり実施する。

3. 講演時間の合図について

第1鈴：講演予定時間終了の5分前

第2鈴：講演予定時間終了のとき

第2鈴が鳴ったときただちに講演を中止していただきます。

4. ショートプレゼンテーション(5分講演)について

中分類分科名	月日	講演番号	ショート	ポスターセッション
1.1 放射線・加速器・原子炉	9/1(月)	1a - YG - 1~25	10:00 ~ 12:05	15:30 ~ 17:30
3.1 物理光学・光学基礎	9/1(月)	1a - ZK - 1~7	10:00 ~ 10:35	13:00 ~ 15:00
3.9 光学新領域	9/1(月)	1a - ZK - 8~14	10:35 ~ 11:10	13:00 ~ 15:00
5.3 光記録	8/31(日)	31a - YD - 1~19	10:00 ~ 11:35	13:00 ~ 15:00
7.3 リソグラフィ	8/30(土)	30a - L - 1~12	11:00 ~ 12:00	15:30 ~ 17:30
10.1 作製技術	8/30(土)	30a - YL - 1~27	9:15 ~ 11:45	13:00 ~ 15:00
	8/31(日)	31a - D - 1~26	9:20 ~ 11:45	13:00 ~ 15:00

6.3 酸化物エレクトロニクス、8.3 微粒子・粉体、11.3 絶縁膜技術、12.4 超高速・機能デバイス、13.1 バルク結晶成長、15.2 教育のポスターセッションではショートプレゼンテーションは行われません。

5分講演におけるOHPシート使用の大体の基準は2または3枚程度です。これに当たっていただく座長は講演が定められた時間に終了するよう是非見守っていただきたいと思

います。なお、この講演では討論は行われません。発表者の講演時間は厳守となります。5分の持ち時間終了のベルが鳴った時はただちに講演を中止してください。時間を有効に使いたいと思

■ ポスターセッションのご案内

ポスターセッションは右記分科において実施します。

ポスターセッションは研究成果をポスター（図表、写真を含む）の形にまとめて、これを指定されたパネルに展示することによって行われるセッションです。この方式による発表では、発表者と参加者との実質的な深い議論が期待でき、参加者は聞きたい講演のみに集中して聞き歩きできる利点をもっていますので、研究者相互の理解には一層、助けになるものと思われま

す。展示方法、発表要領は次のとおりです。

大分類分科名	中分類分科名
1. 放射線・プラズマエレクトロニクス	1.1 放射線・加速器・原子炉
3. 光	3.1 物理光学・光学基礎
	3.9 光学新領域
5. 光エレクトロニクス	5.3 光記録
6. 薄膜・表面	6.3 酸化物エレクトロニクス
7. ビーム応用	7.3 リソグラフィ
8. 応用物性	8.3 微粒子・粉体
10. 有機分子・バイオエレクトロニクス	10.1 作製技術
11. 半導体A(シリコン)	11.3 絶縁膜技術
12. 半導体B(探索的材料・物性・デバイス)	12.4 超高速・機能デバイス
13. 結晶工学	13.1 バルク結晶成長
15. 応用物理一般	15.2 教育

1 展示方法

- イ) 備え付けのパネル（1講演につき、たて120cm、よこ180cmのパネル）が用意されています。あらかじめ講演番号、講演題目、所属、氏名を記入した用紙（たて15cm、よこ85cm）を各自が用意し、これをパネル上部に取り付けてください。
- ロ) 次にパネルに、各自が用意したポスター、図表、写真などを、例えば研究目的、研究方法、研究成果といった順に適宜レイアウトして掲示してください。
- ハ) ポスターの大きさ、形式は問いませんが、できるだけ見やすく、大きく書いてください。その際ポスターがパネルにうまく収まるように、あらかじめポスターの割り付けを検討しておくとう便利です。
- ニ) すべての掲示は本部で用意したピンで行ってください。糊の使用はご遠慮ください。

2 発表要領

- イ) 展示持ち時間 120分（準備 20分、撤収 10分）

	午前のセッション	午後のセッション	
準備	9:10～9:30	12:40～13:00	15:10～15:30
説明・討論	9:30～11:30	13:00～15:00	15:30～17:30
撤収	11:30～11:40	15:00～15:10	17:30～17:40

- ロ) 展示時間のうち、講演番号の順番が奇数の方は前半の1時間、偶数の方は後半の1時間はその場を離れないようにして説明、討論を行ってください。コアタイム（拘束時間）以外の時間についても、できる限りその場において、討論を行えるよう努めてください。連名者があって二人以上で出席できる場合は、だれか一人は常にその場において説明・討論をしてください。
- ハ) 展示持ち時間が終了したら、直ちに講演者各自でポスターをとりはずし、持ち帰ってください。